

大河内翠山 （おほこうち 翠山） 講釋師、小説家。明治十二年一月五日東京生れ、  
昭和十一年十一月十八日没（一八八〇—一九三六）。本名發五郎。別號井筒女  
之助、坂東大郎、春の家麿、根岸女どろ、楠桐樓一夢、神田越山、竹  
の家雀、若菜家胡蝶、鈴の家操、阪東大郎等。木所小學校卒。正岡毅  
廣小師事した。健全講談を唱へてやると物などはやらぬ、おのれは講談  
談心（おんしん）へ小説と講談の中間を行くものゝを自居した。へ新講談と稱  
する創作を『少年偵察部』等々發表。經濟學者大河内一男の父。

著書に、『（おんしん）美談叢書・第壹集』（大正十一年一月五日文教書院）等。

